

令和2年度第3回酒田市地域公共交通会議議事録

(敬称略)

会議名	令和2年度第3回酒田市地域公共交通会議
開催日時	令和3年2月10日(水) 13時30分～14時50分
開催場所	酒田市役所3階第一委員会室 酒田市本町二丁目2番45号
出席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 18名</p> <p>酒田市副市長 矢口明子[会長] 庄内交通株式会社代表取締役社長 村紀明[副会長] 東北公益文科大学学長 神田直弥[副会長] 庄内交通株式会社専務取締役 本山経一 一般社団法人山形県バス協会専務理事 小関和夫 一般社団法人山形県ハイヤー協会酒田支部副支部長 岡部光子 酒田市自治会連合会会長 阿部建治 酒田市地区自治会連合会会長 佐藤俊次 八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 長谷川裕 松山地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 後藤吉史 平田地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 佐藤力 特定非営利活動法人酒田市障がい者福社会理事長 佐藤健治 国土交通省東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 関澤真 私鉄庄内交通労働組合書記執行委員長 後藤正志 庄内総合支庁建設部道路計画課課長補佐 田村武寿 酒田警察署交通課長 大貫和也 庄内総合支庁総務企画部総務課連携支援室長 齋藤真朗 酒田市建設部長 藤井昌道</p> <p>(事務局) 4名</p> <p>企画部長 宮崎和幸 都市デザイン課長 高橋紀幸 都市デザイン課地域公共交通係長 成澤直樹 都市デザイン課地域公共交通係調整主任 齋藤武有</p>
欠席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 3名</p> <p>酒田市老人クラブ連合会会長 梨本利雄 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所道路管理課長 米塚善昭 酒田市健康福祉部福祉課長 柿崎宏一</p>
傍聴者	8名(報道機関4名含む)
協議題等	<p>【協議事項】</p> <p>[議案第1号] 酒田市地域公共交通計画(案)について</p> <p>【その他】</p>
会議の要旨	以下のとおり

【進行】事務局（都市デザイン課長）

1 開会

2 会長挨拶

地域公共交通計画（案）の協議となるが、計画の一部として示す改編の方針はコストカットだけが目的でなく、利便性を向上するために交通事業者や地域の皆さんの意見を聞きながら作成した案になる。運行业務は交通事業者の協力がなければできない。委員の皆さんから意見をいただきたい。

都市デザイン課長 構成員 21 名中、出席者 18 名（1 名遅刻）、欠席者 3 名で、過半数の出席があるため、酒田市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 2 項の規定により、本日の会議は成立となる。要綱の規定により、これからは会長から議事進行をお願いする。

議長 本会議の議事録署名は、阿部建治委員、長谷川裕委員に依頼したいがよろしいか。

各委員 異議なし。

3 協議事項

齋藤調整主任 【議案第 1 号説明】

関澤真委員 フィーダー系統補助金の当否について、デマンドタクシーの新規路線は既存路線と分けて示されていて判断しやすく、一見しても該当になるものと見ているが、市内循環 C・D 線は、路線の 3 km 以上又は 20% 以上の新規性に合致するかよく確認することが必要。地図を見る限り、判断が難しいところ。

デマンドタクシーの使い方動画は、モビリティマネジメント推進の意味でも大いに活用して欲しい。

第 4 章の施策（35 ページ）に各事業の実施主体が記載されていない。実施主体は補助金を申請する上で必要になるので記載して欲しい。

都市デザイン課長 フィーダー系統補助金の市内循環 C・D 線は、事務局で計測 3 km 以上の新規性はあると認識しているが、精査したい。

事業の実施主体については、記載するようにする。

齋藤真朗委員 乗車一人当たりの公費負担額の目標値を 350 円にしているが、計算方法を教えて欲しい。

15 ページの(4) 空路・庄内空港連絡バスの LCC を記載している箇所について、残念ながら廃止となったので、一文を削除するか、観光目的やインバウンド人口を増やすという風に記載してはどうか。

都市デザイン課長 公費負担額の目標値は現状の運行経費と利用者を参考にし、再編後の庄内交通バス、市営バス、デマンドタクシーの乗車人数と運行経費を試算して算出した。

LCC は休止でいつ再開するか分からないが、いつかは再開して欲しいという意味も含めて記載した。

議長 ほかに意見・質問がないようであれば、議案第 1 号について同意してもらえるか。

各委員 異議なし。

議長 議案第1号は承認された。

4 その他

佐藤健治委員 1月30日開催の公共交通の再編に関する意見交換会では、どのような意見があったか。

都市デザイン課長 関係者も含めて約10名が出席した。「今はバスが運行しているので通院できるが、再編後はバスが廃止されるので不便になる」、「障がい者への運賃に関する支援をもっと手厚くすべき」という意見があった。再編すればメリットもあればデメリットもある。相対的に多くの方が便利になるようにしていきたいと考えている。

6 閉会

令和3年2月10日に開催された、令和2年度第3回酒田市地域公共交通会議の議事内容について、上記議事録のとおりであることを確認いたしました。

令和3年2月16日

議事録署名人

酒田市地域公共交通会議委員

阿部健治

酒田市地域公共交通会議委員

長谷川裕